

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2022年4号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2024年6号(11-12月号)

特集 「私のからだは私のもの」から始める 初期中絶のケア

本特集では、議論を整理するために妊娠初期の人工妊娠中絶に限定し、ケアの軸として「からだの自己決定権」を中心に置くことを提案します。助産師を含む日本の女性たちが置かれている現状を知り、「私のからだ」について一緒に考えてみませんか。



2024年5号(9-10月号)

特集 助産師のための LGBTQ+/SOGI 入門

性と生殖に関わる専門職である助産師だからこそ知っておきたい LGBTQ+/SOGI に関する知識と、助産師としての関わりについて、最初の一步を学べる特集です。当事者の産み育てや人生を応援するために、できることがきっとあるはずです。



2024年4号(7-8月号)

特集 令和のお父さんのリアル 男性目線で考える父親支援

育休を取得する父親が急増し、「イクメン」という言葉が過去のものになりつつあります。父親を「支援の受け手」とするために、今、何が求められているのでしょうか。男性目線で考えとともに、男性たちによる父親支援の取り組みを紹介します。



2024年3号(5-6月号)

特集 保険適用の議論の前に知っておきたい 出産とお金のはなし

出産費用の保険適用が議論されていますが、そもそも出産にかかるお金はどうやって決まっているかご存じですか？ 日本の出産費用のしくみと歴史から、海外の出産費用やケアシステム、助産師の働き方までを概観する特集です。



2024年2号(3-4月号)

特集 助産所でも診療所でも病院でも ここまでできる産後ケア

産後ケア事業を行う市町村は増えたものの、量と質の確保や安全管理、経営の課題が指摘されています。本特集では、「成果が出せる産後ケア」を意識して、さまざまな産後ケア実施施設から「ここまでできる！」というベストプラクティスを集めました。



2024年1号(1-2月号)

特集
データでみる「助産所のお産」
嘱託医療機関との連携で実現する安全性と継続性
21 助産所と1 嘱託医療機関の12 年にわたる連携症例 5826 例を分析。助産所分娩を希望した症例の8 割が、嘱託医師への移行や搬送もなく母児ともに問題なく退所します。助産所のお産の現代的意義や、安全な医療のために必要なことまでも可視化した大特集。

2023 年 特集

- 6号(11-12月号) 新世代がつくるお産の場 わたしたちの助産院
- 5号(9-10月号) HTLV-1 母子感染予防の新方針
- 4号(7-8月号) 産む人を中心にした帝王切開
- 3号(5-6月号) 妊娠中の体重管理と栄養
- 2号(3-4月号) チームで取り組む周産期メンタルヘルス
- 1号(1-2月号) ライフワークとして考える助産師のキャリア

2022 年 特集

- 6号(11-12月号) ベテラン助産師に聞く退院までの母乳育児支援のコツ